

米国環境保護庁
ワシントン,D.C.20460

大気放射局

2017年9月28日

ENERGY STAR コンピュータ・パートナー又は他の関係者各位

このレターは米国環境保護庁(EPA)が ENERGY STAR コンピュータ基準書 改訂 7.0 草案 2 の発行に関するものである。EPA は関係者各位がこの基準書 草稿を策定する際に提示された意見及び考察に感謝する。

基準書 改訂 7.0 草稿 2 では以下に述べる主要要素を扱っている：

定義：

EPA はモバイル・ワークステーションに対する新しい定義を提示し、ワークステーション、携帯用オールインワンコンピュータ、独立型グラフィックス、及び追加内部ストレージに対する定義を変更した。

消費エネルギー基準：

EPA は、この草案 2 でノートブック基本許容値及びノートブックに対する性能範囲を調整した。関係者から指摘された分析誤りにより、改訂した基準レベルは、草案 1 で提示した要件よりも厳しく、また 3 つの製品分類で市場の上位四分の一を特定する全体要件を与えることになった。EPA は CEC の独立型グラフィックス及び一体型ディスプレイ許容値とより密接に調和させた。EPA は節電型イーサネット (EEE)許容値を要求する製品は、出荷時に EEE を有効にしなければならないことも明確にした。

対象範囲に対する補足：

EPA は新しく定義したモバイル・ワークステーションを改訂 7.0 の対象範囲から削除することを提案している。この製品分類は、もしこの市場に関する更なるデータが利用可能である場合には、基準改訂 8.0 の一部として再考するかもしれない。

電源基準：

EPA は草案 1 で提案した 80 プラスゴールド相当の内部電源(IPS)要件を維持することを提案している。但し、銘板上 500W 以上の定格出力を有する IPS と共に出荷する製品だけに限る。EPA は 50%負荷での力率要件も訂正し 80 プラス・ウェブサイトと整合させた。

完全なネットワーク接続性：

極めて低電力のネットワークに接続されたモードの柔軟性を高めることで、完全なネットワークプロキシのモード比率は、これらのモードを使用しない製品に悪影響を与えないことを明確にした。広範囲でバージョン 6.0/6.1 でも使用されてきた従来型モードを使って適合することもできる。

コメント提出

関係者はこの適合基準草案 2 に関するコメントを 2017 年 10 月 26 日までに提出されたい。コメント提出者からの要求が特に無い限り、コメントは全て ENERGY STAR 製品開発ウェブサイトに掲載する予定である。

関係者ウェブ会議

EPA はこの草稿に関する質問に答えるため 2017 年 10 月 12 日 12 時～14 時にウェブ会議を開催する予定である。もし出席したい場合にはここに([here](#))登録されたい。

EPA、産業界、及び他の関係団体の間でアイデア及び情報を交換することは、ENERGY STAR 基準書を成功させる上で必須であり、会議で用いる資料は E-メールで配信し、ENERGY STAR ウェブ会議に掲載する。この基準書に関する EPA 進捗状況を知るためには、製品開発ウェブサイト (www.energystar.gov/revisedspecs)を開け、「コンピュータ(Computers)」をクリックされたい。

質問又は懸念に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov(202-343-9153) 又は John Clinger John.Clinger@icf.com (215-967-9407)に連絡されたい。更にコンピュータ関連の質問に関しては、computers@energystar.gov に連絡されたい。ENERGY STAR プログラムの継続支援に関し感謝する。

Ryan Fogle

EPA ENERGY STAR-IT 及びデータセンター製品部門 マネージャー